『利己的な遺伝子』以来の衝撃！

各界騒然
忽ち7刷

熊谷達也氏

ずいぶん前、リチャード・ドーキンスの『利己的な遺伝子』を読んで、人生観が変わるほどの衝撃と感銘を受けた私だが、それに匹敵するような読書体験をすることになった。　「週刊現代」2016年１月16・23日号

立花隆氏

意識が脳科学最大のナゾだった。それは万人にいつでもあるのに、その正体がわからない。そのナゾをついに解いたトノーニの『φ』(ファイ)理論が今世界を席巻している!

池谷裕二氏

科学の作法に則って意識に迫りながらも、冷徹な触感は皆無だ。むしろ人類への愛情に溢れ、ロマンティックなほどだ。　「日経新聞」2015年８月２日

瀬名秀明氏

意識の問題に関心のあるひとなら必読の一冊　「週刊朝日」2015年７月24日号

天才科学者トノーニが意識の秘密に迫る
極上のサイエンス・エンターテインメント。

『意識はいつ生まれるのか　脳の謎に挑む統合情報理論』ジュリオ・トノーニ　マルッチェロ・マッスィミーニ 著

亜紀書房